



御殿山 あゆみだより

URL : <http://www.seirei.or.jp/nurseryschool/gotenyama>

No.298

2021年8月号

聖隷福祉事業団
御殿山あゆみ保育園
宝塚市御殿山 2-1-70
TEL 0797-85-4854
FAX 0797-85-1400

「大人も成長しています」

毎日暑いが続いていますね。照りつける太陽の日差しが、園庭で実ったトマトをととても甘くみずみずしくしてくれました。プールや水遊びで涼をとり、夏を楽しみながら過ごしていきたいと思います。

先月の幼児クラス会議での出来事です。保育の中の一部を切り取って（人物や出来事は架空ですがよくある保育の場面）、保育者としてどんな対応をするか、事例を読んで感じたことなどを職員間で共有する事例検討をしました。事例の内容は、「1歳児クラスで子ども同士がおもちゃの取り合いになった時の保育者の対応」を考えるものでした。

読んで感じたことを出し合っていく中で、一人が「読んでいたら、〇〇さんの保育を思い出した。」と言い、また別の一人が「私も〇〇さんのことが思い浮かんだ!」「子ども同士がトラブルになった時の対応（声かけ）が、絶妙だね。子どもの思いをどんな時もしっかり受け止めるよね。」と続けました。〇〇さんとは、昨年まで乳児の担任を経験し、今年初めて幼児の担任を任されている4歳児担任のことです。そして発言した2人は、昨年まで同じクラスで、彼女の姿を間近で見ていたベテラン保育士です。

幼児クラスは、みんなで一緒に過ごすことが多くなります。子どもたちも自然とそうなることに慣れていき社会性が育まれていきます。発達のにも、乳児期にしっかりと自分を受け止めてもらってきた子どもは、愛されているという自己肯定感を持つことができているので、集団生活の中でも安定して過ごすことが出来るのです。

しかし子どもの立場になってみると、集団行動が増えれば、それだけ「自分のことを見てくれる」「分かってくれる人がある」と実感する機会は減ってきます。そのような中で、彼女は幼児クラスの担任になっても変わらず子どもひとり一人の思いに耳を傾け、尊重する保育を日々行っています。その姿を毎日見ている周りの保育者は、「素敵だな」「丁寧に子どもと関わっているな」「子どもが安心して自己発揮している」と感じていたのです。

初めての幼児担任に戸惑いながらも日々奮闘する姿を見ていたので、事例検討のやり取りを見聞きしているうちに会議中にも関わらず、ジーンと胸が熱くなりました。大人も子どもと同じように誰かが「見てくれている」「認めてもらえている」と感じる瞬間は、大きな安心感につながります。お互いの保育を認め合いながら、日々向上していくことができる先輩と後輩の関係性はかけがえのないものだと感じ、この日の会議はとても温かい空気に包まれました。心が充足感で満たされ、保育という仕事の魅力を改めて感じる事ができたひと時でした。

岸本 正子

～夏を元気に乗り切るために～

夏季協力保育にご協力いただきありがとうございます。この時期は、暑さと湿気で大人でさえ体力を奪われます。子どもは、体温調節がまだ上手ではありませんので、なおさらです。先日オリンピックでも、この暑さで体調不良者が続出し、テニスの競技時間が変更されました。

保育園は集団生活の場です。幼児は皆ある程度同じ生活リズムで過ごします。乳児は個々の生活リズムに合わせて、基本毎日同じ流れで過ごします。リズムが整っていることは大切なことですが、体が休息を求めている子ども自身がそのことに気づくことはできません。

仕事がお休みの日は、色々と済ませておきたい用事もおありかとは思いますが、ご家庭で子どもが自分のペースでゆったり過ごせる時間をぜひ作ってあげてくださいね。

8月の行事より

5日(木) なつまつり

午前中に保育園のホールにいろいろなお店を出店します。ひばりぐみとめだかぐみがお店を出店し、職員(事務所)からはポップコーンのお店も開店する予定です。お昼ごはんはおまつりメニュー!おやつ後は盆おどりで楽しい1日を過ごします。

12日(木)、13日(金)、14日(土) 協力保育日

コドモンでの出欠を入力いただき、ありがとうございました。

申し込み内容に変更が出た場合は、速やかに担任までお知らせください。なお、協力保育期間外で、お休み(職場の夏季休暇など)をされる場合も事前にお知らせいただくと助かります。既に、ご連絡いただいている方、ご協力に感謝いたします。

9月の行事より

1日(水) 防災の日、引き取り訓練



9月1日の「防災の日」にちなみ、今年は9月1日に、毎月行う避難訓練に加え、保護者の方にもご協力いただき、引き取り訓練を実施したいと思います。事前に、コドモンのメール受信が可能かどうかの確認をお願いします。当日は、お忙しいとは思いますが、コドモン配信があった時間にお迎えのご協力をお願い致します。ご都合がつかない場合でも、お迎えの際に引き渡し票の記入等をお願い致します。詳細は、後日お知らせ致します。※コドモンは、土砂災害や警報が出たときなどの急な配信も致します。今後も必要に応じて利用してまいりますので、受信確認は各ご家庭で責任を持ってお願いいたします。

お願い

*送迎の際のご兄弟について

送迎の際、在園児ではないご兄弟の車内放置はおやめください。必要な時は事務所でご兄弟のお預かりをいたします。事務所にお声かけください。気温が高くなる季節ですのでお気をつけください。

*登降園での打刻について

登園の打刻は、子どもさんをお部屋で受け入れ後に打刻してください。降園の打刻は子どもさんをお迎えに行く前に検温と打刻をしてください。打刻の順番をお守りいただきますよう、よろしくお願いいたします。

ただ信じなさい

「恐れることはない。ただ信じなさい。そうすれば、娘は救われる。」(ルカ8:50)

宝塚栄光教会牧師 岩間 洋



イエス様のもとに会堂長のヤイロが来て、重病で死にかかっている一人娘を救ってほしいと願ひ出ました。イエス様はすぐに彼の家に向かわれました。ところが途中で病を患う女性が服の房に触るといふ割り込みが入り、イエス様の進行が妨げられてしまいました。すると、ヤイロの家から使いの者が来て、娘が息を引き取ったという悲報を告げました。間に合わなかったのです。ヤイロは絶望の淵に叩き込まれました。そんな彼にイエス様が語られたのが、上掲のみことばです。

すでに一縷の望みもなくなった今、何を信ぜよと言われるのでしょうか。イエス様を信ぜよと言われるのです。ヤイロは信じました。イエス様は彼の家に行き、娘の寝かされている部屋に入り、「娘よ、起きなさい」と言って、彼女を生き返らせなさいました。死んだはずの娘が生き返ったのです。イエス様がなされたみわざです。しかし、ヤイロが信じたから起こされた神のみわざでした。

神様を信じれば、必ず神様は不思議なみわざを行われます。私たちが信じるかどうかにかかっています。どんな時でも、全能の神様を信じましょう。